

食と緑の博覧会

「食と緑の博覧会ちば90」が、11月18日から12月16日まで幕張メッセで開催され、家族づれなどでにぎわいました。

各市町村コーナーでは、趣向をこらして懸命のPR。わが横芝町では、展示コーナ



横芝町の展示コーナーを訪れる見学者のみなさん

ーの正面に設置した満開の梅の木の大型電飾写真と栗山川で捕れたサケが見学者の目をひき、特産物のメロン、トマト、スイートコーンなどの園芸作物と有機米の展示品や観光スライド、さらに、坂田城址と梅林、郷土の偉人海保漁村と第17代横綱小錦八十吉のパネルが町をPRしました。このほか、毎日無料配布した佐瀬哲司町長の似顔絵入りの横綱小錦の「トントン紙相撲」や毎週日曜日に無料配布した「梅酒」、そして12月1日には、伝統芸能を披露して大観衆に感動を与えた「中台梯子獅子」などが町のPRに一役買ってくれました。

期間中、当町の展示コーナーを訪れた見学者は52,918人。全入場者数1,251,116人の4.2%でした。

なお、当町の展示コーナーを見学された水戸市在住の方から「近年のこの種の催しは、似たようなものも多く、や、うんざりの態ですが、貴町のご出品は実に簡素でレトロ調豊かなものだけに、胸をくすぐる感傷を受けました。これからもマンネリをクリアする素材で特色あるものをアピールしてください」という激励文をいただきました。



メッセ会場で披露する梯子獅子



展示品のかずかず



中台若獅子会のみなさん